

■ 調査結果

1. 災害に備えた啓発や情報発信に関する取組について

(1) 防災への関心について

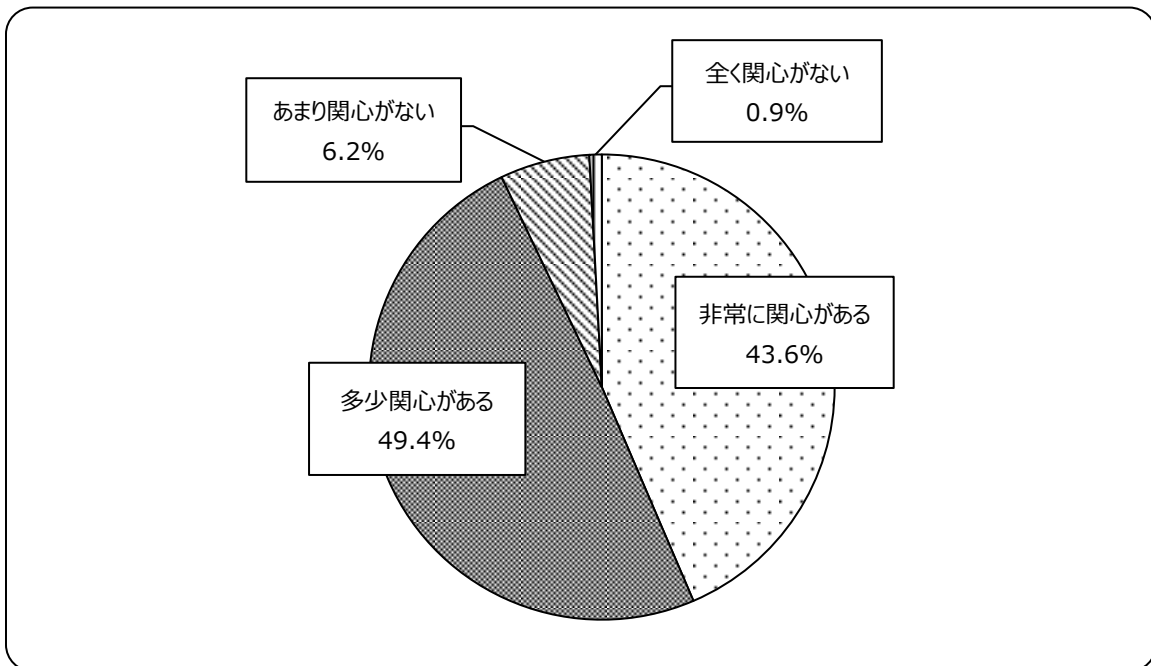
«防災への関心の程度»

問 1. 防災に関してどの程度関心がありますか。

【選択は1つ】

「非常に関心がある」、「多少関心がある」が、9割以上を占めている。防災への市民関心度は高いことがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	203	43.6%
2	多少関心がある	230	49.4%
3	あまり関心がない	29	6.2%
4	全く関心がない	4	0.9%
	計 (回答総数)	466	100.0%



(2) 防災マップについて

«防災マップのリニューアル について»

問 2. 防災マップがリニューアルされたことをどのように知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

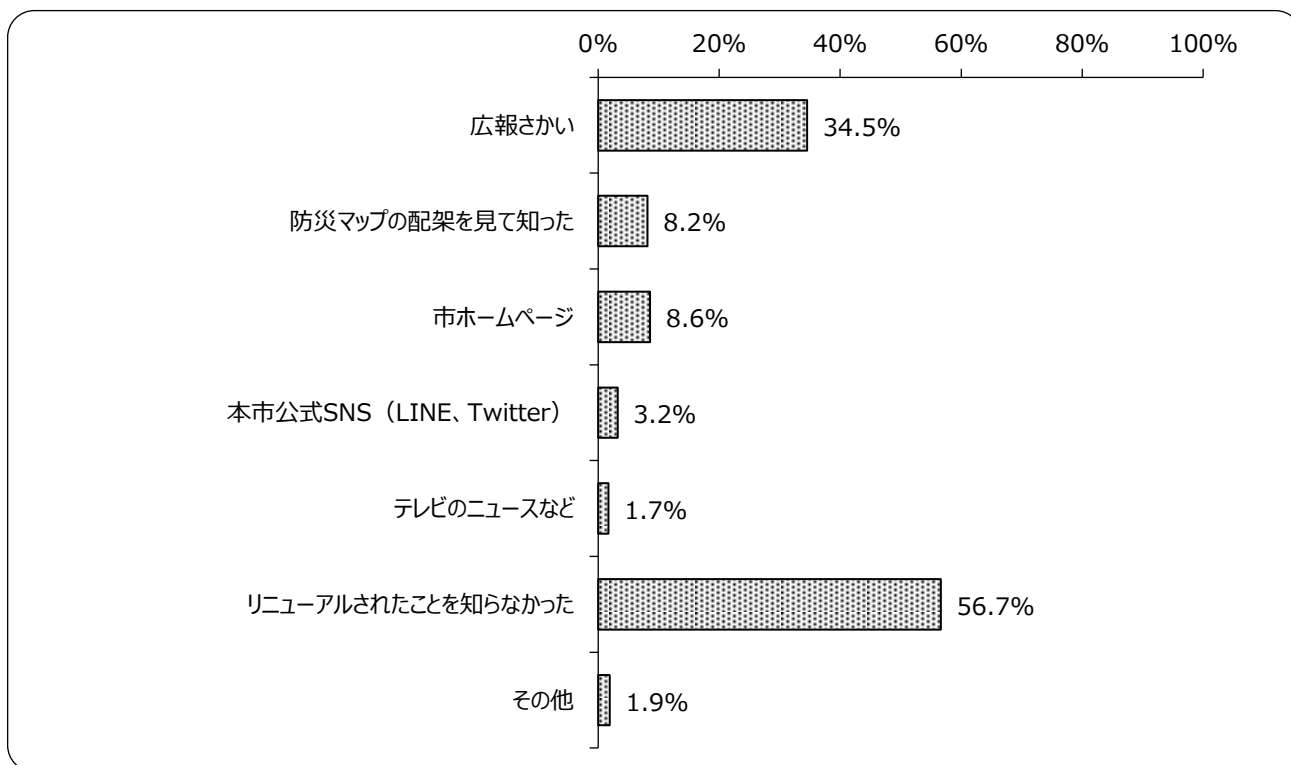
「リニューアルされたことを知らなかった」が最も高い。リニューアルを知った媒体として広報さかいの割合が高かったため、継続的な掲載や内容の充実を図る必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	広報さかい	161	34.5%
2	防災マップの配架を見て知った	38	8.2%
3	市ホームページ	40	8.6%
4	本市公式SNS (LINE、Twitter)	15	3.2%
5	テレビのニュースなど	8	1.7%
6	リニューアルされたことを知らなかった	264	56.7%
7	その他	9	1.9%

[7 その他]

【主な回答】

- 堺区政策会議に参加しているため
- 大学の授業
- 防災フェア
- 自治会
- 議員の報告会
- 校区防災委員会での配布



「防災マップの入手先について」

問 3. リニューアルされた防災マップをどこで入手しましたか。

【複数選択可：いくつでも】

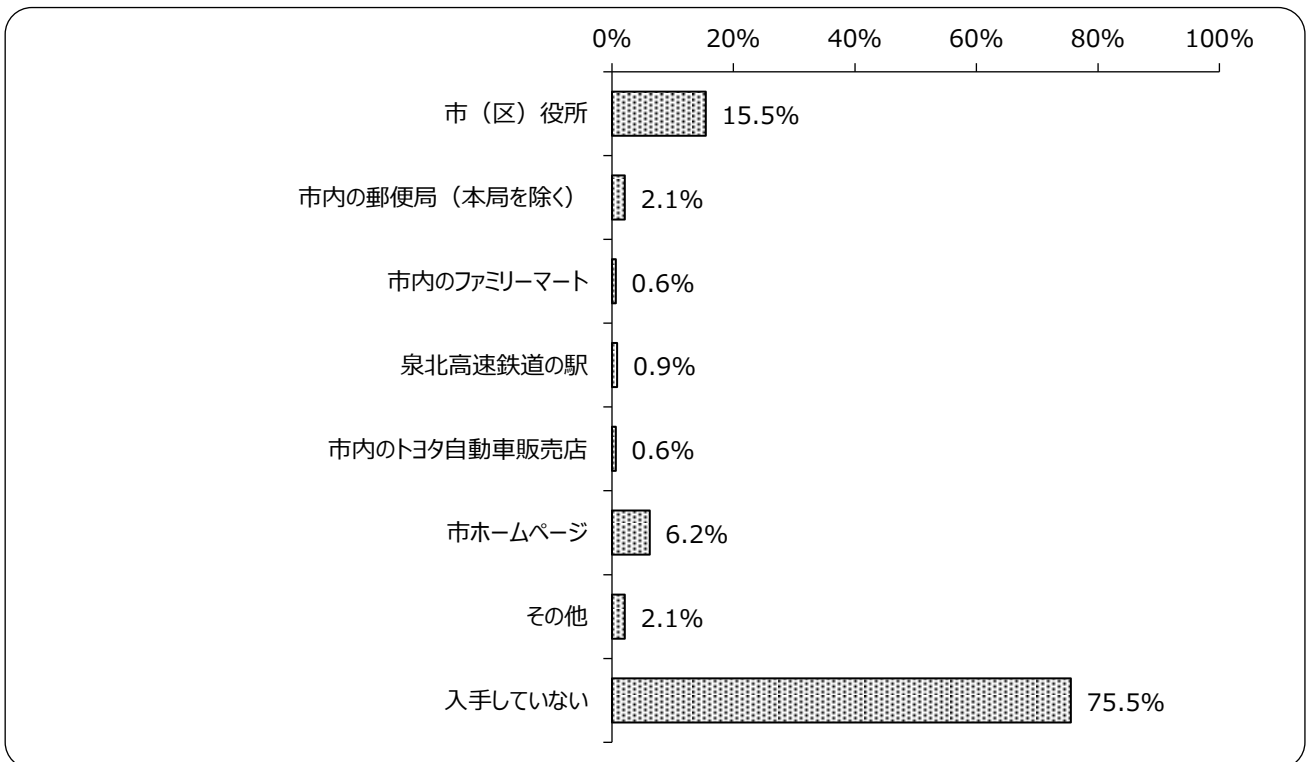
「入手していない」が最も高い。入手している場合は、市（区）役所が多い。民間事業所での配架を知らない市民が多いため、広報さかいや市ホームページでの配架場所の発信について引き続き検討する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	市（区）役所	72	15.5%
2	市内の郵便局（本局を除く）	10	2.1%
3	市内のファミリーマート	3	0.6%
4	泉北高速鉄道の駅	4	0.9%
5	市内のトヨタ自動車販売店	3	0.6%
6	市ホームページ	29	6.2%
7	その他	10	2.1%
8	入手していない	352	75.5%

[7 その他]

【主な回答】

- イベントでの入手
- 校区防災委員会会議
- 堺市障害者自立支援協議会



«防災マップの入手理由について»

問 4. 問 3 で 1～7 と回答された方に伺います。

なぜ、リニューアルされた防災マップを入手しようと思いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

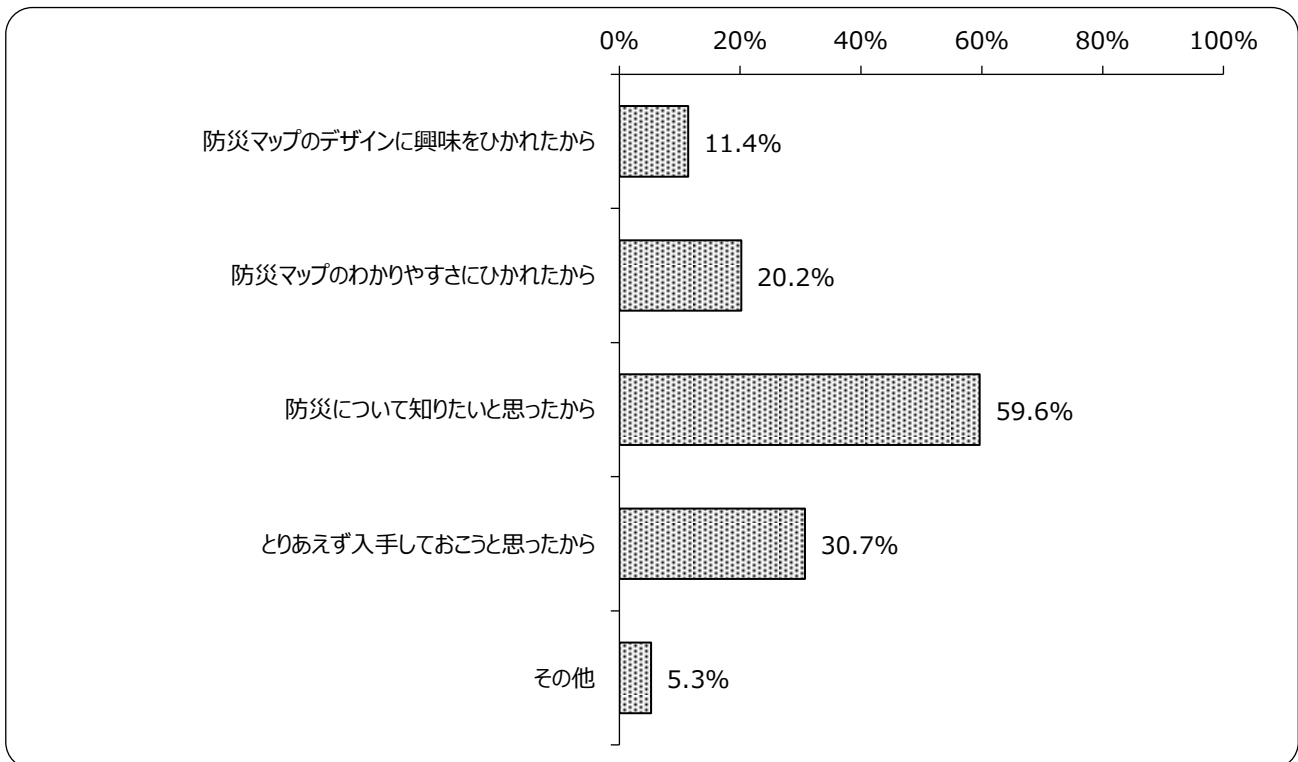
「防災について知りたいと思ったから」が最も高く、防災への関心度の高さが防災マップの入手につながっている。デザイン改訂やイラストを使用し、わかりやすい内容にしたことによる効果もあったことがわかる。

	選択項目 (N=114)	回答数	回答数/N
1	防災マップのデザインに興味をひかれたから	13	11.4%
2	防災マップのわかりやすさにひかれたから	23	20.2%
3	防災について知りたいと思ったから	68	59.6%
4	とりあえず入手しておこうと思ったから	35	30.7%
5	その他	6	5.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 校区内で理解しておくため
- 市のイベントで配布されていたため
- 防災委員会活動に必要不可欠
- ハザードマップから自宅の危険度を知ること、また避難場所がどこかを知るため



「防災マップの内容について」

問 5. 問 3 で 1～7 と回答された方に伺います。

防災マップの内容について、良いところや悪いところがあれば、ご記入ください。

【自由記述】

「見やすい」「わかりやすい」といった意見が多く、デザインを改訂したことによる効果があらわれていることがわかる。

【良いところ】

- 見やすく、内容がわかりやすい。
- 生活上必要なものであり悪いところはない。
- シニア世代向け防災マップは具体的な準備など良く理解できた。
- 一冊の防災マップとしてまとまっているので、見やすくなったと思う。
- 避難方法、公衆電話のかけ方、ローリングストック法、子どものストレス反応をわかりやすく記載している。（妊産婦・子育て世帯向け防災マップ）
- 自宅周辺の災害リスクや避難先、避難するタイミングがわかりやすい。
- 各区版、対象別の防災マップを作成している点。
- 自ら考えて書いていけるような工夫（備蓄品のチェックリストページ）
- 堺市民としてゴルゴ 13 が嬉しい。
- イラストが多く使用されておりインパクトがあり興味を惹いた。
- 防災に興味が無い方にも目を惹くデザインで良い。
- カラフルでわかりやすい。字も大きくてわかりやすかった。
- 白を基調としたシンプルなデザインで、手に取りやすいと思う。

【悪いところ】

- 防災マップはデジタルで見ると紙の方が見やすいと思う。
- ページが多く開けて見にくい。
- 子どもが手にしてもわかる内容のものがあると良いと思った。
- 避難場所がよりわかりやすく表示されると良いと思う。
- 住居表示検索の容易化を図ってほしい。
- 防災マップに撤去済の防災スピーカーの記載があり、撤去予定の表示をしてほしかった。
- 種類が多く情報量が多すぎる。（ダイジェスト版の作成、郵便番号入力の災害リスクの表示など）。
- ペット同行避難所についての記載がない。
- 防災マップに建物記載がないため避難対象地区、避難経路をイメージしにくいいため、細かい町名の表示を希望する。
- 津波ハザードマップの避難目標に霞ヶ丘公園の記載がない。
- カラーになっているので良かったが、字が細かいため高齢者には見にくいと思った。
- 冒頭の「知る・考える」について地震編と風水害編の色を分けるとより見やすいと思う。
- 見出しがあった方が良かった。
- ゴルゴ 13 のイラストは、高齢の一定層にしか届きにくいように思う。
- ホームページのものを印刷すると白黒になって見づらい。
- 過去の災害事例が入ると、より具体的になるように思う。

【その他】

- 広報さかいでも「全戸に配布しません」という記述があれば良かったと思う。
- 高齢者が災害時に自分で安全に避難することが難しい方もおられます。そのために、支援を要する人が安全に避難できるように組織的な体制作りが必要ではないかと思う。
- もし定期的に更新されることがあれば、「2022」を前面に出しても良いと思った。
- 防災マップや広報紙、更新情報の媒体そのものに興味のない層とある層で情報格差が生まれるのではないか。
- 地域の実情が反映されていないことが残念。

(3) 防災マップの配架先について

≪防災マップの配架先拡充検討について≫

問 6. 防災マップの配架先について、問 3 の 1～6 以外の場所で入手しやすい（したい）と考える場所があれば、ご記入ください。 【自由記述】

駅や図書館など、普段利用する機会の多い場所への配架を希望する回答が多くみられた。防災マップの性質上、公共性の高い場所での配架が有効である。

【公共施設】

- 小中学校
- 大学
- 保育園や幼稚園
- 図書館
- 体育館など市の各施設
- マイナンバー受付所、ワクチン接種会場など
- 子育てひろば

【民間施設】

- コンビニエンスストア
- セブンイレブンやローソン（ファミリーマート以外のコンビニエンスストア）
- 配架先のコンビニエンスストアで該当区以外のもも配架してほしい。
- ファミリーマートに置いてあったようですが、近所にはないのでまず入手できません。
- ライフやコノミヤなどのスーパーマーケット
- イオンモールだと主婦の人たちも手に入りやすいと思う。
- 鉄道各社の堺市内各駅
- マクドナルド
- ドラッグストア
- トナリエ
- 堺高島屋
- 堺市内にある会社
- 病院、金融機関
- 不動産会社
- バス停、バスの車内案内
- ファミリーレストラン
- 理容、美容店
- スポーツクラブ
- ホームセンター
- ディスカウントストア

【その他】

- 地域会館
- 自治会の掲示板、回覧板
- 地域の防災訓練

- インターネットでみれるので、リンクにアクセスしたくなる広報活動をした方がいいと思う。
- 入手場所の周知を図る。
- インターネット配信、堺市ホームページ、子育て応援アプリ、LINE、Google、メールマガジンでも案内
- 広報さかいと一緒に折り込み全戸配布
- 日常生活の中で防災マップが目に入るように工夫すればよいと思う。
- 公道に防災マップの立て看板を立てる。
- 民間配架施設で配架していることがわかるようにポスターなどを掲示する。
- 泉北コミュニティ
- 市内の小中学校を通じて全生徒への配布はいかがでしょうか。大人よりも子どもたちのほうが防災意識や防災マップに興味を持つと思う。子どもたちを通じて、全市民への防災意識の向上に繋げてはいかがでしょうか。一人でも多くの命が災害から守られれば、防災マップの発行費用など安いものです。何でもかんでも、経費削減はやめましょう。

(4) 防災マップの啓発効果について

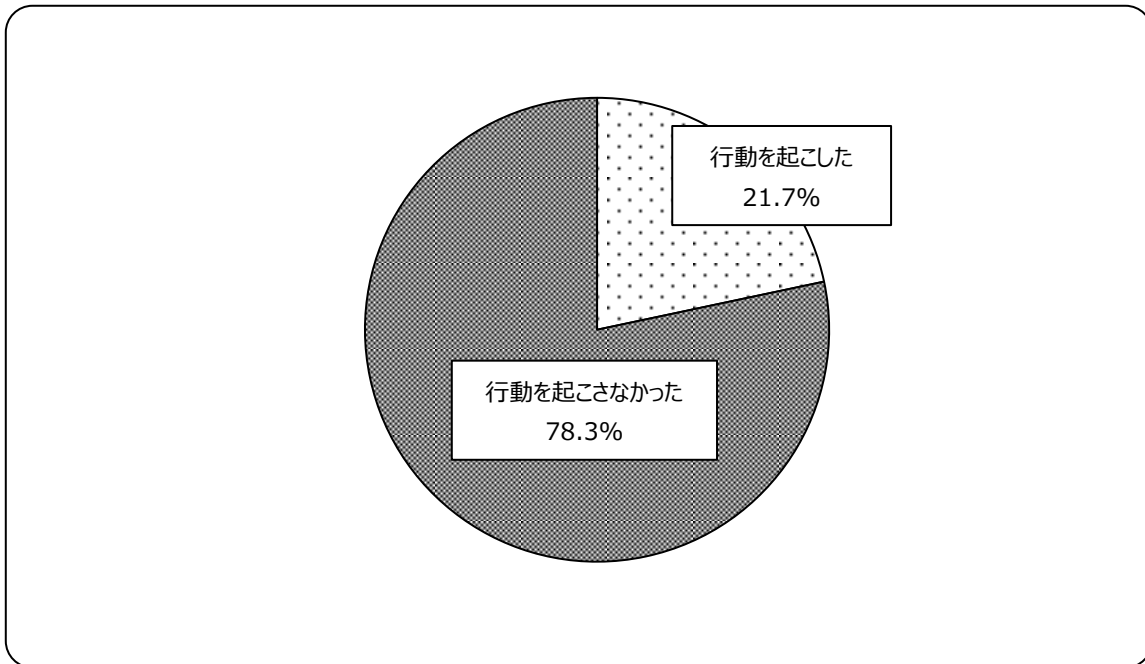
«防災マップによる行動変容について 1»

問 7. 防災マップを見て、災害に備えて何か行動を起こしましたか。

【選択は 1 つ】

「行動を起こさなかった」が 78.3%であった。広報さかいや市ホームページなどで、具体的な災害へ備えた行動を提案するなどの周知活動を拡充し、行動に移してもらえるよう促すことが必要である。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	行動を起こした	101	21.7%
2	行動を起こさなかった	365	78.3%
	計 (回答総数)	466	100.0%



「防災マップによる行動変容について 2」

問 8. 問 7 で「1 行動を起こした」と回答された方に伺います。

災害に備えて、具体的にどのような行動を起こしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

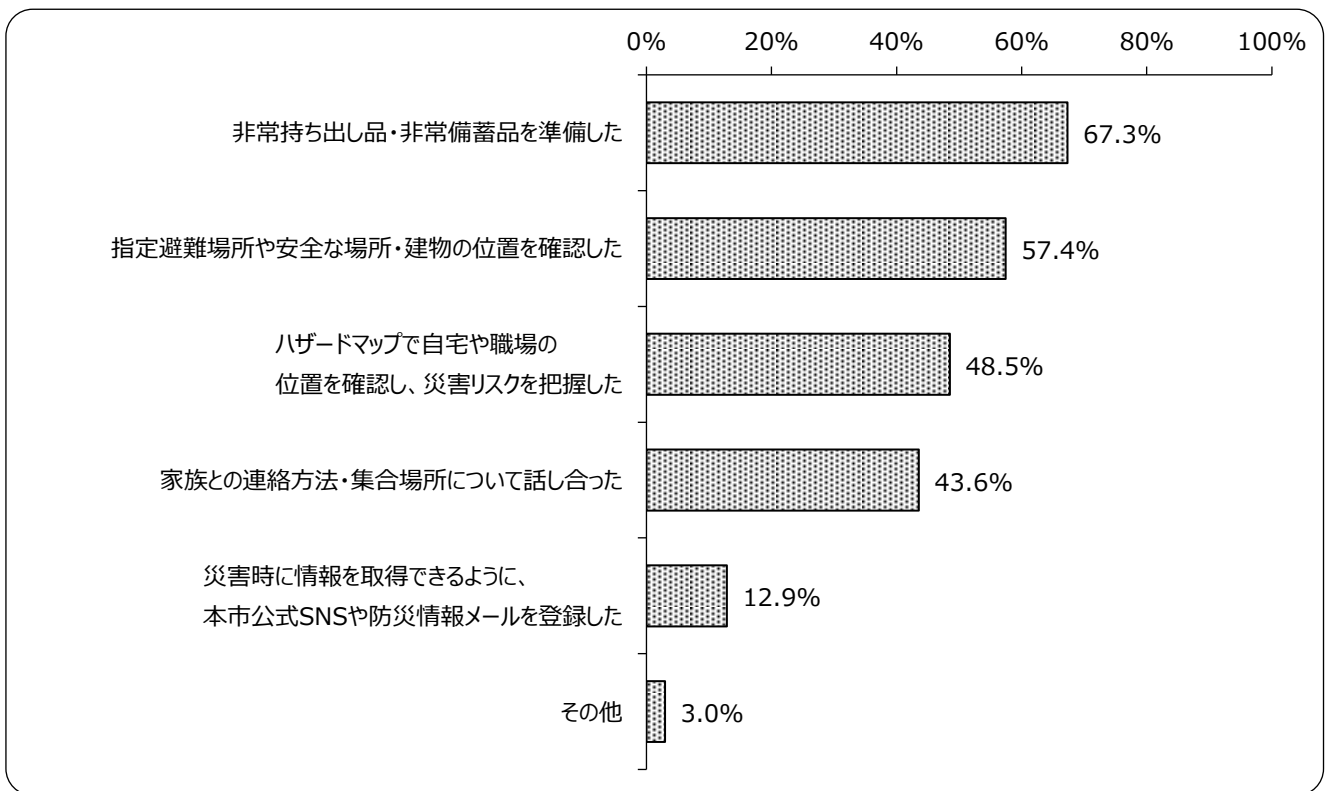
災害リスクへの備えや確認を行った人が多かった一方で SNS や防災情報メールの登録者が少なかった。自発的な情報収集を促せるような周知を行うことが今後の検討課題である。

	選択項目 (N=101)	回答数	回答数/N
1	非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した	68	67.3%
2	指定避難場所や安全な場所・建物の位置を確認した	58	57.4%
3	ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し、災害リスクを把握した	49	48.5%
4	家族との連絡方法・集合場所について話し合った	44	43.6%
5	災害時に情報を取得できるように、本市公式SNSや防災情報メールを登録した	13	12.9%
6	その他	3	3.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 不動産購入の際の参考
- 非常持ち出し袋などの再確認をした。



(5) 避難に関する情報の取得方法について

«避難に関する情報の取得方法»

問 9. 本市では、大雨や台風、地震などによる災害発生時や、災害発生が予測されるような時に、避難所の開設や避難指示などの避難情報の発信を様々な手法を用いて行っています。これらの情報を取得するために特に利用しているものは何ですか。 【複数選択可：いくつでも】

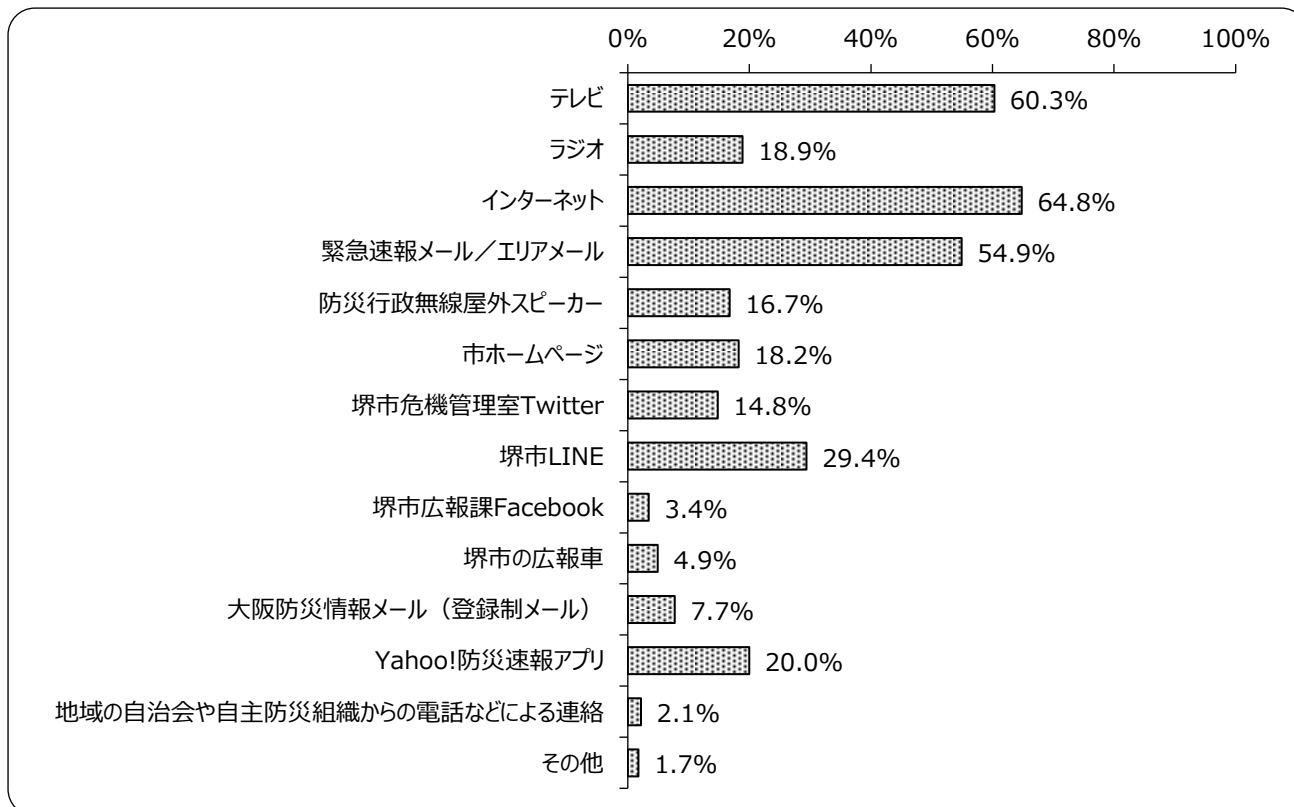
「インターネット」による情報取得が 64.8%と高く、続いて「テレビ」・「緊急速報メール／エリアメール」の順に高くなっている。このことから、災害発生時は身近な媒体を利用し、また自ら情報を取得している方も多いことがわかる。

	選択項目 (N=466)	回答数	回答数/N
1	テレビ	281	60.3%
2	ラジオ	88	18.9%
3	インターネット	302	64.8%
4	緊急速報メール／エリアメール	256	54.9%
5	防災行政無線屋外スピーカー	78	16.7%
6	市ホームページ	85	18.2%
7	堺市危機管理室Twitter	69	14.8%
8	堺市LINE	137	29.4%
9	堺市広報課Facebook	16	3.4%
10	堺市の広報車	23	4.9%
11	大阪防災情報メール（登録制メール）	36	7.7%
12	Yahoo!防災速報アプリ	93	20.0%
13	地域の自治会や自主防災組織からの電話などによる連絡	10	2.1%
14	その他	8	1.7%

[14 その他]

【主な回答】

- Yahoo!天気アプリ
- 地域の自治会や自主防災組織からの LINE
- 友人に聞く



「避難に関する情報の取得方法の評価」

問 10. 避難所の開設や避難指示など、市が発信している避難に関する情報は、現状で十分取得できていると感じますか。 【選択は 1 つ】

「思う」と「思わない」が同数であり、半数の方に対して既存の方法が有効である一方、不十分であると感じている方に対する効果的な情報発信について引き続き検討する必要がある。

	選択項目 (N=466)	回答数	構成比
1	思う	233	50.0%
2	思わない	233	50.0%
	計 (回答総数)	466	100.0%

